



房総信用組合

BOSHIN DISCLOSURE 2010

房 総 信 用 組 合 の 現 況

平成22年度上半期(平成22年9月末現在)経営情報



ごあいさつ

皆様には、平素より房総信用組合に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。

本年も、平成22年度上半期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、房総信用組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役職員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 白井 和

事業方針

基本理念

房総信用組合は、地域金融機関として、組合を愛する人の和を大切に、地域社会に奉仕することを念願しております。

基本方針

- ・皆（地域の皆様・職員・信用組合）と共に発展する
- ・信用を第一とする
- ・堅実を旨とする

経営情報

平成22年度上半期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)における経営情報をお知らせいたします。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成22年3月	1,945	1,816	128	1,945	100.00	100.00
	平成22年9月	2,438	2,303	135	2,438	100.00	100.00
危険債権	平成22年3月	5,103	2,923	524	3,448	67.56	24.04
	平成22年9月	5,172	2,984	526	3,511	67.88	24.08
要管理債権	平成22年3月	725	413	215	628	86.62	68.91
	平成22年9月	655	442	194	636	97.17	91.31
不良債権計	平成22年3月	7,774	5,153	868	6,021	77.45	33.12
	平成22年9月	8,266	5,730	856	6,587	79.68	33.77
正常債権	平成22年3月	49,165					
	平成22年9月	47,944					
合計	平成22年3月	56,939					
	平成22年9月	56,211					

※各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。(以下 同)

(注)平成22年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成22年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

＜平成22年9月末の算出方法＞

- 1.債務者区分については原則として平成22年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事由ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 2.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 3.「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 4.「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 5.「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

損益の状況

(単位:百万円)

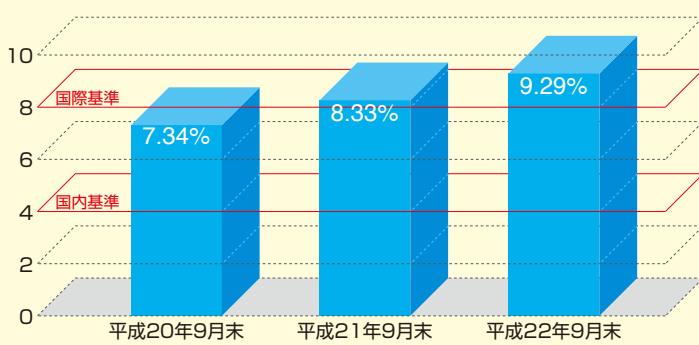
科目	平成22年9月末	(参考)平成21年9月末
業務収益	1,084	1,249
業務費用	898	933
業務純益	186	315
臨時収益	2	0
臨時費用	80	213
経常利益	108	103
特別利益	14	7
特別損失	—	—
税引前当期純利益	122	110
法人税、住民税及び事業税	1	6
法人税等調整額	2	0
当期純利益	118	103

単体自己資本比率 (単位:%)		
	平成22年9月末	(参考)平成21年9月末
単体自己資本比率	9.29	8.33

自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、資本金や引当金等の自己資本の占める割合を表しています。この比率が高いほど、自己資本が豊富にあり経営基盤がしっかりしていると言えます。国内でのみ営業を行う金融機関に対しては4%、国際業務を営む金融機関に対しては8%という基準が定められています。当組合の自己資本比率は9.29%と国内基準を大きく上回ると同時に、国際基準も超えています。

自己資本比率の推移



自己資本の構成に関する事項 (単位:百万円)

項目	平成22年9月期	平成21年9月期	項目	平成22年9月期	平成21年9月期
(自己資本)			(リスク・アセット等)	—	—
出資金	774	730	資産(オン・バランス)項目	49,583	52,440
資本準備金	—	—	オフ・バランス取引等項目	35	70
利益準備金	700	667	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	3,686	3,806
特別積立金	2530	2530	リスク・アセット等計(F)	53,305	56,317
次期繰越金	506	305	単体Tier1比率(A/F)	8.46%	7.51%
その他有価証券の評価差損(△)	—	—	単体自己資本比率(E/F)	9.29%	8.33%
基本的項目計(A)	4,511	4,233			
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	108	108			
一般貸倒引当金	765	915			
補完的項目不算入額(△)	432	563			
補完的項目計(B)	441	460			
自己資本総額(C)=(A)+(B)	4953	4,693			
控除項目計(D)	—	—			
自己資本額(E)=(C)-(D)	4953	4,693			

(注)金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

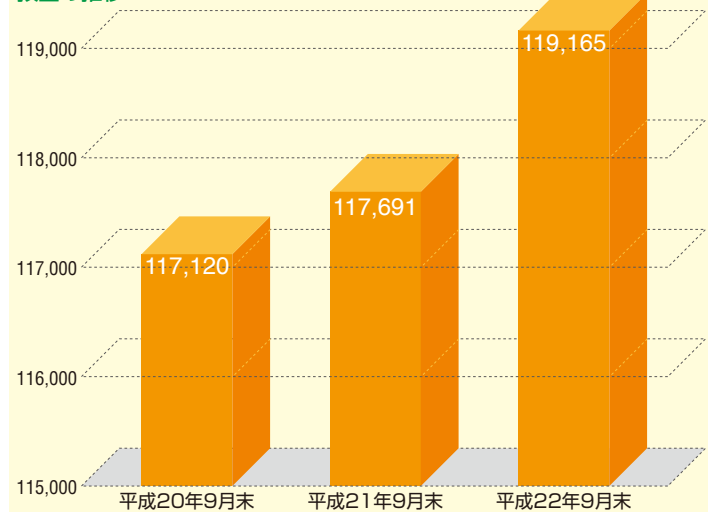
預金・貸出金の状況 (単位:百万円)

区分	平成22年9月末	(参考)平成21年9月末	区分	平成22年9月末	(参考)平成21年9月末
預金残高	119,165	117,691	貸出金残高	56,089	57,773

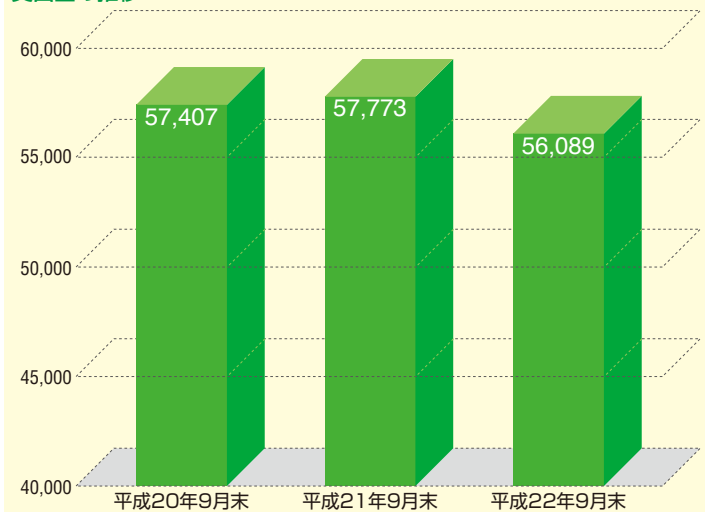
中・小口預金を中心とした預金獲得に努めた結果、前年同期比1,474百万円増加しました。

小口融資を中心に積極的に推進し、資金需要に応えましたが、前年同期比1,684百万円減少しました。

預金の推移



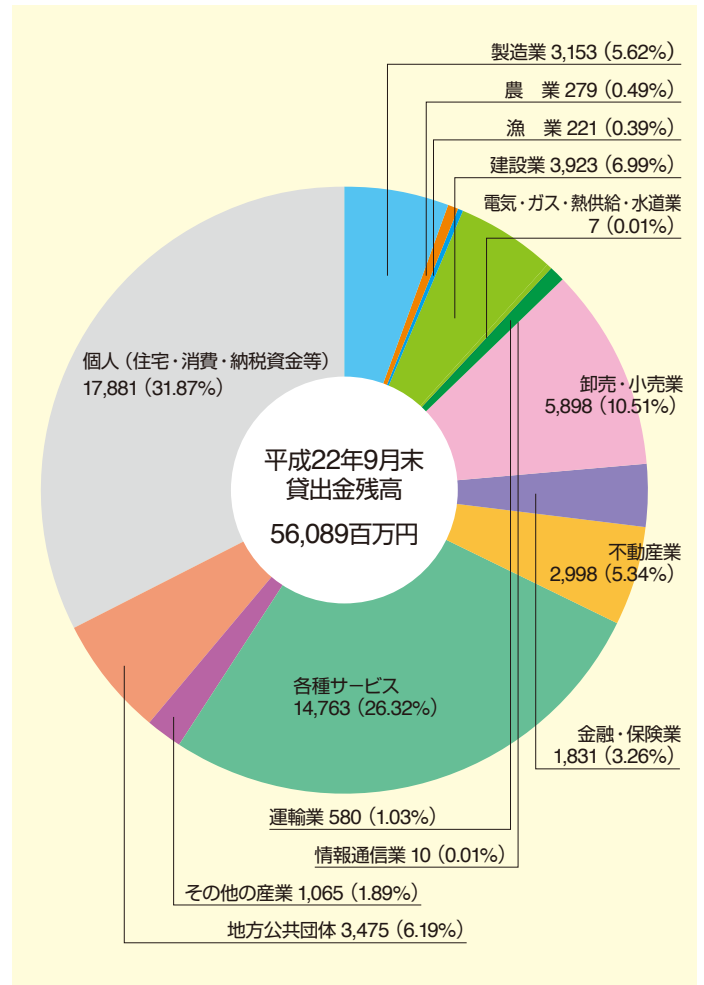
貸出金の推移



貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	平成22年9月末		〈参考〉平成21年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	3,153	5.62	3,520	6.09
農業	279	0.49	307	0.53
林業	—	—	—	—
漁業	221	0.39	250	0.43
鉱業	—	—	—	—
建設業	3,923	6.99	4,263	7.37
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.01	2	—
情報通信業	10	0.01	8	0.01
運輸業	580	1.03	664	1.15
卸売・小売業	5,898	10.51	6,188	10.71
金融・保険業	1,831	3.26	1,841	3.18
不動産業	2,998	5.34	3,093	5.35
各種サービス	14,763	26.32	14,316	24.78
その他の産業	1,065	1.89	1,191	2.06
小計	34,732	61.92	35,648	61.70
地方公共団体	3,475	6.19	3,198	5.53
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	17,881	31.87	18,926	32.76
合計	56,089	100.00	57,773	100.00



有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成22年9月末					〈参考〉平成21年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
株式	136	123	△13	1	14	137	146	8	10	2
債券	19,626	20,312	686	691	5	17,009	17,338	328	366	37
(国債)	5,947	6,239	292	292	5	4,226	4,340	113	120	7
(地方債)	4,848	5,035	187	187	0	3,437	3,552	115	115	0
(社債)	8,830	9,037	206	206	0	9,345	9,445	100	130	30
その他	2,791	2,792	0	29	29	1,540	1,478	△35	1	37
合計	22,555	23,227	672	722	49	18,661	18,963	302	379	77

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成22年9月末					〈参考〉平成21年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額			貸借対照表計上額	時価	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
外国証券	1,400	1,278	△121	0	121	1,500	1,276	△223	0	223
国内債券	99	108	8	8	—	99	105	5	5	—
合計	1,387	1,387	△112	8	121	1,599	1,382	△217	5	223

地域貢献に関する情報

1. 地域貢献に関する経営姿勢

当組合は、茂原市から鴨川市までの外房地域一帯を営業地区とし、地域の事業者や住民が組合員となり、お互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組合組織の金融機関です。

組合員、お客様一人一人の顔が見えるきめ細かな取引を基本としており、常にお客様の事業の繁栄や生活の質の向上に貢献するため、組合員の利益を第一に考えることを活動の基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

2. 預金を通じた地域への貢献

当組合は、組合員をはじめとする地域のお客様の着実な資産づくりを支援するために、目的や期間に応じた各種預金・積金をご用意しております。平成22年9月末現在、1,191億円の預金をお預りしています。

3. 融資を通じた地域への貢献

当組合は、営業地区内で調達した資金(預金)を地区内の事業者や個人のお客様に対して円滑に供給(貸出)することにより、地域経済の活性化に努めることが最大の地域貢献と考え、積極的に融資業務に取り組んでおります。

(1) 貸出先数・金額(平成22年9月末現在)

区分	先数(先)	貸出残高(百万円)	内訳(百万円)
事業者	1,372	34,798	(設備資金) 15,459 (運転資金) 19,339
個人	4,738	17,894	(住宅資金) 10,439 (消費者ローン) 1,643
地方公共団体	12	3,475	
合計	6,122	56,167	

(2) 地方自治体の制度融資の取扱状況

当組合は、千葉県や茂原市など地区内各市町村の中小企業向け制度融資の取扱窓口指定されており、平成22年9月末現在、793件、3,475百万円のご利用を頂いております。

制度の名称	取扱件数(件)	貸出残高(百万円)
千葉県事業振興融資資金	438	2,033
千葉県その他制度融資資金	14	139
千葉県短期運転資金	126	562
市町村等制度融資	215	741
合計	793	3,475

(3) 当組合の融資商品の概要

当組合では、事業者や個人の資金ニーズにお応えするため、次のような融資商品を取り扱っております。

① 事業者向けご融資

種類	概要
証書貸付	主に設備資金などをご利用いただく長期のご融資です。
手形貸付	主に運転資金などをご利用いただく短期のご融資です。
手形割引	一般商業手形の割引です。
当座貸越	一定の貸越極額まで自由にご利用いただける当座預金の貸越契約です。

② 個人向けご融資

種類	資金のお使いみち	ご融資金額(上限)	ご融資期間(最長)	担保・保証
住宅ローン	住宅の新築・増改築・購入	6,000万円	35年	不動産・保証人または保証会社
オートローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	7年	保証会社
カーライフローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	8年	保証会社
カーライフローンレポート	自動車等の購入・車検・免許取得費用(お取引のあるお客様向け)	500万円	7年	保証会社
カードローン	事業資金以外の健全な消費資金	300万円	3年(自動更新)	保証会社
スーパーカードローン	事業資金以外の健全な消費資金	70万円	3年(自動更新)	保証会社
多目的ローン	商品・サービス代金の支払い	300万円	7年	保証会社
目的ローン	事業資金、旧債返済資金以外で資金使途が明確な資金	500万円	7年	保証会社
フリーローン	事業資金、旧債返済資金以外の消費資金	300万円	7年	保証会社
教育ローン	教育資金全般	200万円	10年	家族保証
進学ローン	入学金・授業料・下宿代等の支払い	300万円	10年	保証会社
シルバーライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	100万円	5年	保証会社
ぼうしんパートナーズ	運転資金、設備資金等の事業資金	500万円	5年	保証会社
バリアフリーローン	介護のための増改築、介護機器福祉車両等購入資金・施設入居費用	500万円	10年	保証会社
司法書士研修費用専用ローン	新人研修特別研修の授業料、教材費等の資金	100万円	5年	保証会社

地域貢献に関する情報

4.取引先への支援状況

当組合は、地域経済の活性化・振興への貢献活動として、創業・新事業支援や要注意先等に対する経営改善指導、事業再生支援などに取り組んでおります。

(1)創業・新事業支援

新規・独立開業や、取引先企業の新分野進出に対する資金ニーズについては、当組合のプロパー融資や政府系金融機関の代理貸付、地方自治体制度融資などの利用により対応しております。

(2)要注意先等のランクアップへの取り組み

要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止を図るため、本部・営業店が一体となり、経営改善の可能性のある取引先を選定し、経営改善指導等の支援を行っております。

(3)事業再生支援

取引先企業の早期事業再生を図るため、経営改善計画の策定を求めたり、貸出条件の緩和などの金融支援を行い、過剰債務の解消・再生に向けて取引先企業と協調して取り組んでおります。

現在、経営相談・支援機能の強化や、事業再生支援に関する人材の育成、TKC千葉会の「経営改善指導力養成講座」、千葉県中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断協会千葉県支部との連携など、企業の再生に向けた取り組みを積極的に行っております。

5.地域へのサービスの充実

当組合では、地域の皆様への感謝を込めた企画や、ご利用者の利便性向上に努めています。

特に、ご高齢のお客様には色々な特典をご用意しています。

- ・懸賞金付普通預金(年金口座)「心づくし」
- ・懸賞金付定期預金「福 運」
- ・優遇金利+懸賞品付定期預金「100歳100歳」
- ・年金友の会旅行…毎年1回開催しております。平成22年度は世界遺産と板門店を巡る「韓国・ソウル満喫の旅」を企画いたしました。

そのほか、経営相談やファイナンシャルアドバイザーによる資産運用相談などの相談業務に力を入れております。

営業地区内店舗数 … 16店舗、 ATM設置台数 … 21台

6.文化的・社会的貢献活動

当組合は、金融業務を通じた地域貢献だけでなく、色々な分野で地域のお役に立ちたいと考え、たとえば次のような活動を行っております。

- ・ごみゼロ運動……全職員が各店別に毎月1回の早朝路上清掃活動を行っております。
 - ・ゲートボール大会…地区内から60チーム、約360人が参加する大会を毎年開催しています。(別に地区別大会も行っています。)
- そのほか、茂原七夕まつり、一宮かずさ祭りへの参加や、各地区で行われる商工祭や催事を積極的にお手伝いしております。
- ・9月3日の「しんくみの日」を記念して、当組合本店会議室を会場に「献血運動」を実施しました。今年で3回目となりましたが、職員60名のほか一般の方からも献血にご協力をいただきました。この他、窓口では「花いっぱい運動」として来店者に花の種を配布いたしました。
 - ・特別金利定期預金「ちば環境応援団!!」を20億円募集し、募集額の0.01%にあたる200,000円を寄付金として、当組合が拠出いたしました。また、千葉県環境財団「ちば環境再生基金」の募金箱を店頭を設置、大勢のお客様さまからお寄せいただきました浄財46,872円と合わせて、千葉県環境財団「ちば環境再生基金」へ寄付させていただきました。



ごみゼロ運動



「しんくみの日」献血運動



平成22年8月24日(火)於 千葉県庁環境生活部

7.休日融資相談会の開催

お仕事などの都合で平日にご来店いただけないお客様のために、休日融資相談会を毎週日曜日及び祝日(但し、1月1日～3日、5月3日～5日を除く)に開催しております。事業資金や個人ローンを中心に様々なご相談をお受けしますので、お気軽にご相談下さい。

なお、事前にご予約の受付もいたしております。

相談窓口：本店(茂原市高師町1-10-5)

予約連絡先：0475-22-6111

開催時間：午前10時～12時、午後1時～4時

◆相談・苦情窓口

相談・苦情受付ホットライン



フリーアクセス

0120-940-339

までお願いします。

地域密着型金融推進計画の進捗状況(要約)

I. 基本計画

当組合の地域密着型金融推進計画は、限られた営業地域で組合員の方々を対象とし相互扶助の精神に則って金融業務にあたる「信用組合」の特性を十分踏まえて立案しています。すなわち、地域経済の発展、組合員の事業の繁栄、豊かな家庭生活のお手伝い、という信用組合の基本的な目的を前提とし、地域経済の活性化を総合的に図っていくこと、地域に根ざした密度の濃いコミュニケーションをベースに、新しいビジネスモデルも含めた金融仲介機能の充実、収益力強化による金融機関としての健全性維持向上、積極的な情報開示等広報活動を通じた理解度信頼度の向上等に重点を置いた計画としました。

II. 項目ごとの推進計画

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール	21年度取組み結果		具体的取組策とスケジュール	22年度取組み結果
				21年度計画	(21年4月～22年3月)		
(1)	企業の成長段階(ライフサイクル)に応じた審査機能、各種手法の活用	①創業、新事業支援 ・融資審査能力の向上 ・地域に密着した営業活動に基づく、将来性のある案件の発掘・育成のための体制強化 ・起業・事業展開に資する情報の提供 (財) 千葉県産業振興センター等の活用による創業・経営革新等に関する情報の提供等 ・創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援 政府系金融機関との情報交換・連携強化に関する支援等 ②経営改善支援 ・中小企業に対するコンサルティング機能および情報提供機能の強化 ・各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動 ・要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組の強化 ・キャッシュフローのモニタリング、融資審査体制の強化等により、不良債権の新規発生防止、財務諸表分析・信用格付による経営改善指導、要注意先債権等の健全化に努める ・健全債権化等の強化に関する実績の公表 経営改善支援先に対する本部と営業店の連携による支援策の強化	①・審査能力向上、創業・新事業に関する研修 ・(財) 千葉県産業振興センター等を活用した情報提供 ・日本政策金融公庫・商工中金との情報交換、協調融資の推進 (農業分野への深耕) ・信用保証協会の活用による創業・新事業に対する融資推進 (原材料価格高騰対応等緊急保証制度の利用推進) ②・(社) 中小企業診断協会千葉県支部との連携による経営、財務等の改善に対する経営改善支援(プレゼン実施と企業訪問) ・千葉県再生支援協議会との連携継続	①・全国信用組合中央協会主催の企業財務分析講座、コミュニティ・ビジネス&創業支援講座、信用保証協会主催の保証承諾事務講習会に職員を派遣し審査能力向上に努めました ・農業分野の融資取組として日本政策金融公庫と代理貸付を締結、千葉県と農業近代化資金利子補給契約を締結しました ・信用保証協会利用による創業・新事業融資の21年の実績は以下のとおりです 創業2件 20,000千円 挑戦2件 23,420千円 ・景気対応緊急保証制度【旧制度名・原材料価格高騰対応等緊急保証制度】の利用については21年度の実績は85件 1,009,082千円となりました ②・中小企業診断協会と連携により各店1社の計16社を選定し経営改善を目的に各社の現場の問題等を調査し取組ました ・千葉県再生支援協議会に再生支援先の対象先として組合から10社を選定し再生支援協議会に申請しましたが、再生可能先として現状2社が継続審査中です	①・審査能力向上を図り、創業、新事業の取扱を増加 ・継続して日本政策金融公庫・商工中金と協調融資を推進し、農業分野、トラック協会の利子補給制度の利用を高める ・信用保証協会・県制度の取扱を推進強化する ②・(社) 中小企業診断協会千葉県支部との連携を継続する ・千葉県再生支援協議会との連携を継続する	①・全国信用組合中央協会主催の企業財務分析講座に職員を派遣し、審査能力の向上に努めました ・農業分野における日本政策金融公庫の制度を広く周知しました ・運輸業者に対する事業の多角化に努めました ・引き続き信用保証協会利用による創業・新事業融資に努めました ②・中小企業診断協会との連携を継続し、対象先と取組方針の見直しを行いました ・再生支援協議会と継続審査中の2社については債務者の合意が得られず組合独自の支援に切り換えております	
(2)	単なる金融支援ではなく事業そのものを再生する取組	①事業再生支援 ・中小企業の過剰債務の解消や社会のニーズの変化に対応した事業の再構築 ・中小企業再生支援協議会、千葉県再生ファンドとの連携、活用	①・各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動の支援実施 ・経営改善支援実施先47先の個別健全化策の立案、実践 ・融資先のキャッシュフロー分析の実施	①・中小企業庁発行の「今チャレンジ新連携」「夢を実現する創業」「今すぐやる経営革新」の冊子を利用し相談・情報提供を実施しました ・日報・祝日融資相談窓口を継続実施しております ・経営改善支援先47先の内、中小企業診断協会との連携による経営改善取組先の13社、千葉県再生支援協議会の2社について事業再生支援に取組んでおります ・融資先のキャッシュフローは決算登録することにより信用格付表として出力されますので各種分析に利用しています	①・各種団体・専門家との連携を継続し相談業務・情報提供の充実を図る ・融資先の個別健全化策の立案、実践	①・TKC千葉会による研修「経営改善指導力養成講座」7/10をもって第1回として5回開催いたしました ・融資先の個別健全化策の立案指導はTKC千葉会と連携し下期の実施を計画しております	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1)	不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資手法	①不動産担保・保証に過度に依存しない融資の推進 ・担保・保証に過度に依存しない、新型の事業者ローンの商品化を図る。 ②第三者保証が過度にならないように整備を図る ・財務制限条項とスコアリングシート等の活用等による、新型ローンの商品化を図る。	①・新型の事業者ローンの商品開発 ・千葉県農業信用基金協会と保証業務を締結する ②・スコアリングシートの活用による新型ローンの研究	①・担保・保証に依存しない独自融資「事業ローン・SP」は平成21年3月までの取扱を平成22年3月まで延長し累計43件 112,867千円の残高になっております ・千葉県農業信用基金協会と10月に保証業務契約し1件 2,400千円実行しました ②・保証会社を活用した無担保・無保証扱の事業資金ローンを検討しております	①・新型の事業者ローンの商品開発 ・優良保証商品の導入 ②・スコアリングシートの活用による新型ローンの研究を継続する	・保証会社との提携による法人向け・個人事業者向けのビジネスローン・スーパー500、スーパー300の取扱いを7/12より開始しました ・8/2より組合独自の無担保低利ビジネスローン「元氣」を取扱開始しました
(2)	目利き能力の向上と、公的金融や信用保証制度との役割分担	①企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成 ・中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 ②財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資の推進 ・信用保証協会等との連携により、保証制度の活用及び推進	①・中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 ②・公的金融、信用保証制度の活用及び推進	①・5/13 中小企業金融公庫代理店連絡会議出席(代理貸付制度に関する内容) ・5/21 (社) 中小企業診断協会千葉県支部総会出席(情報交流会) ・7/13 全国信用組合中央協会主催の企業財務分析講座出席 ・9/1 全国信用組合中央協会主催のコミュニティ・ビジネス&創業支援講座出席 ・9/15 千葉県信用保証協会情報交換会出席(保証取組方針・推進方針) ・12/8 財務省関東財務局の円滑化対策に係る説明会出席 ・12/8 千葉県信用保証協会の保証承諾事務講習会出席 ・1/26 財務局千葉財務事務所の千葉地域金融フォーラム出席(地域密着型金融推進シンポジウム) ・3/9 (株)企業再生支援機構の説明会出席(企業再生支援機構の概要・活用方法) ②・信用保証制度の活用及び推進の21年度実績は544件3,607,448千円になりました	①・中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 ②・公的金融、信用保証制度の活用及び推進	①・5/26(社) 中小企業診断協会千葉県支部出席(情報交流会) ・6/9千葉県信用保証協会主催の融資推進基礎研修に職員を派遣 7/13融資推進実践研修に職員を派遣 ・7/12全国信用組合中央協会主催の企業財務分析研修、7/26事業所開拓研修に職員を派遣 ・千葉県信用保証協会情報交換会(保証付融資への取組み) ②・上期6ヶ月間の信用保証制度の取上げ実績は262件1,677,532千円になりました
(3)	市場間接金融手法の活用など、多様な資金供給手法の提供	①中小企業の資金調達手法の多様化を図る ・千葉県版CLO、売掛債権担保、シンジケートローン等、中小企業の資金調達方法の支援に努める。	①・信用保証協会の流動資産担保融資保証制度(ABL保証)の活用を検討	①・商工組合中央金庫と連携によるシンジケートローンを6月に1先実行しました	①・中小企業の資金調達方法の支援に努める	①・商工組合中央金庫と連携したシンジケートローンの取扱いを継続しております

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1)	地場産業や中心市街地の空洞化等の問題を踏まえた地域経済の活性化	①地域再生推進に向けた各種施策との連携等、地域活性化に向け地域と一体となった取組 ・地元取引先からの情報、行政や商工団体等からの情報収集に努め、そのネットワークを駆け地域外の専門家、専門機関との連携を図り地域再生に向けて積極的に取組む。	①・上部団体の検討結果を踏まえ他金融機関と組合の取組状況を比較検討し、開示項目・方法の見直しを行う ・地域再生施策に関する情報収集に努め、参画、協力態勢を整える	①・上部団体からの情報提供を活用し地域貢献に関する開示項目、方法の見直しをしております ・9/10商工会議所主催の経営革新法の申請・BCP(緊急時企業存続計画)の取扱説明に出席いたしました ・11/25に組合ホールで緊急経営対策セミナーとして「中小企業金融の円滑化に向けた取組について」「緊急・資金繰り対策と経営改善計画について」をテーマに開催しました	①・地域再生施策として行政、商工団体との関係を強化する	①・金融、地域政策に関するセミナー(8/28長生地域まちづくりフォーラム主催のフォーラム・パネルディスカッション) ・商工会議所のセミナー(経営革新9/28～11/11の7日間)等に職員を派遣し、地域再生支援に向けた態勢強化に努めています
(2)	事業性貸出に留まらない、地域住民に対する多様な金融サービスの提供	①地域の利用者のニーズに対応した多様な金融チャンネルの提供による事業性貸出に留まらない金融サービスの提供	①・あのネットの活用(ライフプランニング)を検討する	①・あのネットを活用するインフラ整備を検討しましたが、構築までには至りませんでした	①・ホームページからの利用、活用を検討する	①・新商品の発信、webからの消費者ローン利用促進に努めました



房総信用組合

〒297-8611 千葉県茂原市高師町1-10-5

TEL:0475-22-5111

ホームページ <http://www.boshin.shinkumi.jp>

Eメール boshin@peach.ocn.ne.jp

店舗一覧

本部	茂原市高師町1丁目10番地5 TEL:0475(22)5111 FAX:0475(23)9777
本店	茂原市高師町1丁目10番地5 TEL:0475(22)6111 FAX:0475(22)6112
本納支店	茂原市本納1773番地 TEL:0475(34)3302 FAX:0475(34)3318
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地 TEL:0475(42)2061 FAX:0475(42)2071
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4 TEL:0475(46)1159 FAX:0475(46)1303
夷隅町支店	いすみ市苅谷189番地の1 TEL:0470(86)2150 FAX:0470(86)3689
町保支店	茂原市町保42番地の22 TEL:0475(24)2321 FAX:0475(25)4800
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1 TEL:0470(87)2214 FAX:0470(87)7696
大原支店	いすみ市大原9231番地の3 TEL:0470(62)2225 FAX:0470(63)1807
白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1 TEL:0475(33)3612 FAX:0475(33)3594
岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3 TEL:0470(87)3166 FAX:0470(87)5971
茂原支店	茂原市茂原347番地 TEL:0475(24)3335 FAX:0475(24)3337
鴨川支店	鴨川市横渚885番地の1 TEL:04(7092)1221 FAX:04(7093)1277
天津小湊支店	鴨川市天津1212番地の4 TEL:04(7094)0173 FAX:04(7094)0159
長狭支店	鴨川市松尾寺435番地の6 TEL:04(7097)1131 FAX:04(7097)1130
勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1 TEL:0470(73)0025 FAX:0470(73)0099
御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6 TEL:0470(68)2731 FAX:0470(68)2115